

2026年度内閣府青年国際交流事業 参加申込書

2026年 月 日提出

1. 応募者情報

ID	
(ふりがな)	
氏名	
生年月日	(西暦) 年 月 日
年齢	歳 (2026年4月1日現在)

(写真貼り付け)

上半身正面脱帽、
縦4.5cm×横3.5cm、6ヶ月以内に
撮影したもの添付してください。

2. 希望ディスカッションテーマ

※応募フォームにおいて、希望事業として「東南アジア青年の船」事業を選択した方は、希望するディスカッションテーマを必ず選択してください。

※必ず指定枠全てを埋めてください。選択理由は「10. 事業への参加を通じて学びたいこと」に記載してください。

※テーマは今後変更される可能性があります。

※国際社会青年育成事業、日本・韓国青年親善交流事業を選択した方は、記入不要です。

事業名	希望順位	ディスカッションテーマ
「東南アジア青年の船」事業	1	ディスカッションテーマを選択
	2	ディスカッションテーマを選択
	3	ディスカッションテーマを選択

3. 学歴・職歴

※大学の学歴を記入する場合は、学部まで記入してください。

※枠が足りない場合は、適宜追加してください。

例 例	年	月	学歴（高校卒業以降）・職歴
	2025年	3月	○立○○高等学校卒業
	2025年	4月	○○大学○○学部○○学科入学

4. 資格等

※外国青年との交流に役立つと考えられる技能について、該当欄に種類と程度を具体的に記入してください。

（例）柔道（初段）　茶道（歴3年）　手話ができる　等

英語に関する資格及び経験	
英語以外の語学に関する資格及び経験	
外国青年との交流に役立つと考えられる技能	

5. 海外渡航歴（観光を除く）

※目的には留学、商用、団体派遣（事業名）等と記入してください。

※枠が足りない場合は、適宜追加してください。

時期	渡航期間	訪問国	目的
2019.10～11	1か月	アメリカ合衆国	留学

6. 内閣府青年国際交流事業の地方プログラム等への参加歴

※過去に事業の一部として実施している地方プログラム、青少年国際交流を通して国際社会や地域社会

への貢献を考えるつどい（ブロックイベント）等への参加歴がある場合、記入してください。

※枠が足りない場合は、適宜追加してください。

事業の名称	活動期間	自己の活動内容など
「東南アジア青年の船」事業の地方プログラム受入（○○県）	2025.4～2026.1	○○県のローカルユースとして、「東南アジア青年の船」事業の地方プログラム受入とその準備に携わった。当日は、ASEAN各国青年の茶道体験をアテンドしたほか、文化継承について積極的に意見交換を行った。

7. 内閣府青年国際交流事業以外の国際交流事業への参加歴

※枠が足りない場合は、適宜追加してください。

事業の名称	活動期間	自己の活動内容、事業参加後の取組など
○○県姉妹都市交流事業	2018.8～2018.9	○○県の姉妹都市である△△州を訪問し、現地高校生との交流や学校訪問を通して、文化や価値観の違いを学んだ。参加後は、その経験をいかし、○○県での△△州の高校生の受入に継続して協力している。

8. これまでに力を入れて取り組んできたこと（400字以内）

※リーダーシップを發揮した経験があれば、併せて記載してください。

(字)

9. 志望動機（400字以内）

(字)

10. 事業への参加を通じて学びたいこと（400字以内）

※具体的に学びたいスキル・知識を含めて記載してください。

※国際社会青年育成事業または「東南アジア青年の船」事業の参加を希望する場合、「2. 希望デイスカッションテーマ」で当該テーマを選択した理由も踏まえて記載してください。

(字)

11. 事業参加後の活動について（400字以内）

※内閣府青年国際交流事業の参加青年には、日本を代表して事業に参加した者として、各々の属する職域や地域に事業参加によって得たものを還元する（「事後活動」）とともに、継続的に自己研鑽に励み、各分野において国際社会や地域社会をけん引するグローバルリーダーに成長することを期待しています。

あなたは事業参加後にその経験をいかしてどのような活動をしたいか、「●●の分野で、●●と
して貢献したい」等を具体的に記載してください。

(字)

12. テーマに関する実績について（該当者のみ）

※国際社会青年育成事業のテーマ（「孤独・孤立対策」）に関する実務に従事している方は、その実績等を記載してください。また、実績について証明できるものがあれば、併せてメールにて提出してください（以下にリンク等を貼り付ける形でも可）。